



Meito 2年進路だより

2024/04/09

No.01

名古屋市立名東高等学校進路部

新年度にあたって、「気持ちを新たに頑張ろう！」と考えている人も多いと思います。2年生は高校生活をもっとも謳歌できる学年であり、さまざまな場面で学校の中心となる学年でもあります。この1年間、存分に活躍してくれることを期待しています。

2年学年団の先生方とともに、われわれ進路部も夢に向かって歩み続けるみなさんの背中を押していきたいと思ひます。よろしくお願ひします。



2年生になれていますか？

新入生が入ってきて、普通科ではクラスも変わり、形式的には2年生なのですが、中身も2年生になれていますか？

特に学習面においてははどうでしょう。まさか、まだ春休みの課題が終わっていない人はいないですよね。終わっていたとしても、提出すること、終わらせることが目標になっていたりしませんか？

1年生の後半をふり返ってみてください。テスト勉強もおざなりとなり、赤点回避のつじつま合わせで切り抜けてきた人はいませんか？

そんな具合に、ごまかして1年生を終わらせてきたという心当たりのある人は、年度替わりをきっかけに初心に戻って、「2年生になる」ことを目指してください。

2年生の1年間を見通してみよう

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		中間 考査		期末 考査		名東 祭	中間 考査	修学 旅行		期末 考査		学年 末 考査
進 路 設 計	2年生としての 学習習慣の確立				受験生としての 意識を自覚							
	進路希望の具体化に向けた 学問・職業の探究											
	志望目標設定											

2年生の3学期は「3年0学期」と言われます。共通テストが1月中旬に実施されることを考えれば、その1年前にあたる3学期には受験の態勢に入っているべきであるということです。

では、「受験を意識した勉強」はいつから始めたらよいのでしょうか？

目安は修学旅行としてください。修学旅行から帰ってきたら「受験生としての意識を自覚」し、受験に向けた勉強をスタートさせてください。

「受験勉強って何をしたらいいの？」という疑問も起きます。それは決して塾に入ることでも、部活動を引退することでもないので誤解しないでください。むしろ部活動は悔いの残らぬよう、最後の最後までやり抜いてください。そのためには、より密度の濃い「勉強と部活動の両立」が求められます。ですから、今のうちから「両立」の精度を高めていってください。

受験勉強の前半、3年の1学期ごろまでは「基礎・基本の徹底」です。これまで学習してきた内容のヌケやモレをなくして、確たる土台を築くことです。ですから、これから始まる2年生の学習でしっかりとした取り組みをしていけば、この受験前半期の負担を軽くすることができるわけです。

このように1年間を後ろから追っていけば、いち早く「2年生になること＝2年生としての学習習慣の確立をすること」の大切さが理解できると思います。

定期考査を軸にPDCAサイクルを回そう

2年生での学習の中核は、学校の授業とその確認である定期考査です。定期考査を軸とした学習習慣を確立してください。

みなさんの中には「計画的にテスト勉強をする」ことが苦手な人も少なくないのではないでしょうか。まずはそれにチャレンジしてください。最初からうまくいく人はなかなかいません。みんな、やってみて、失敗して、調整して、またチャレンジして、……の繰り返しです。定期考査に向けた学習でPDCAサイクルを回してください。

Plan	定期考査に向けて、目標を設定しよう。そのために、何をどこまでやるべきかを考え、カレンダーに落とし込もう。
Do	立てた計画を実行していきます。毎日決まった時間に勉強する習慣をつけよう。
Check	テストを受けた結果から達成度を確認します。うまくいったこと、うまくいかなかったことを書き出して、課題の「見える化」を図ろう。
Action	見える化された課題から、次回に向けての改善策を練ります。真剣にテストに取り組んだ人ほど、よりよい策にいたるはずです。困ったときは先生や友だちにアドバイスを求めてもよいでしょう。

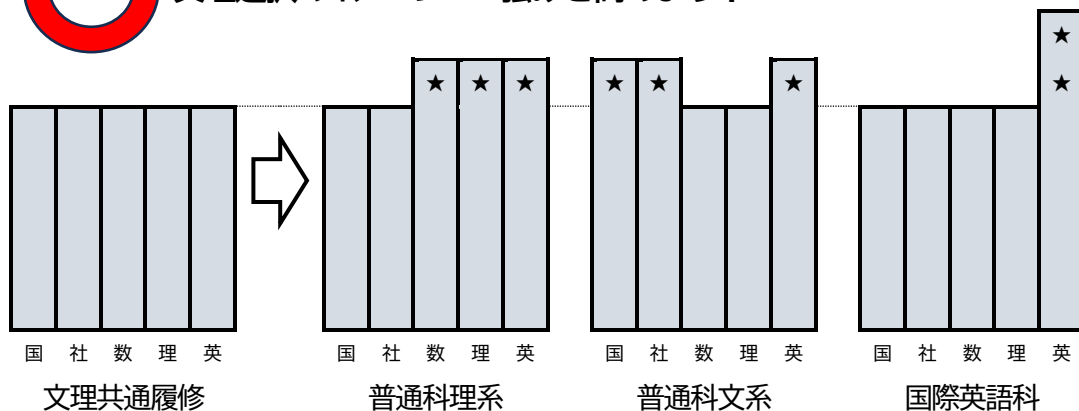
定期考査ごとにこのような取り組みを重ねていけば、自分に合った理想の学習法に近づけていけるでしょうし、もっと長期の計画を考えることもできるようになると思います。定期考査を軸にPDCAサイクルを回して、自分なりの学習スタイルを確立していきましょう。

文理選択のメリットを活かそう

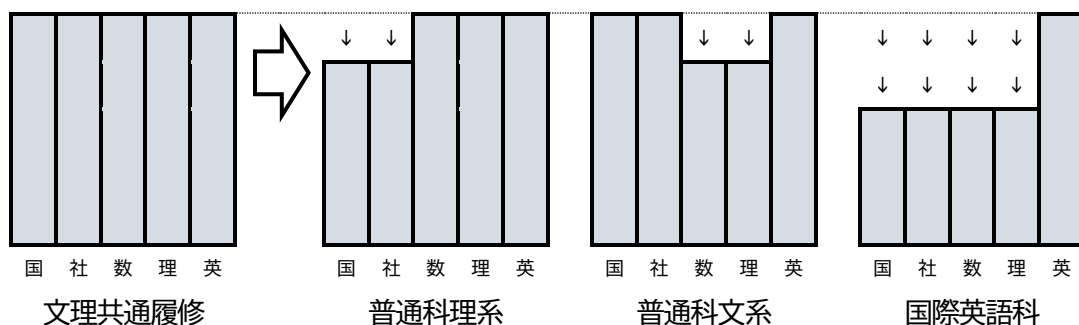
普通科では文理分けがスタートしました。2年次から文理を分けるメリットはどこにあると思いますか？国際英語科も含めて、選択分けのメリットを最大限に活かそう。



文理選択のイメージ：強みを高めよう！



注意 弱点のハードルを下げてしまったら、マイナス効果！



すぐやる人になろう！

これまでに卒業していった先輩たちもそうでしたが、**名東生の最大の弱点は「スタートが遅い」**ことです。この弱点を克服するためには、日頃からすぐやる習慣をつけることです。締め切りぎりぎりに行動することは改め、今やれることは今すぐ片付けるように心掛けてください。そうすれば、日々の生活の中にもゆとりが生まれ、時間をより有効に使えるようになります。**Not Tommorrow, TODAY! (明日やろうはバカ野郎!)**

現在、今春の卒業生たちが残してくれた『合格体験記』を編集中です。6月ごろにはみなさんの手元に届けられると思います。この中から一部紹介します。

先輩からのメッセージ～『合格体験記 2024』より～

■1・2年生の時は授業を聞いて考査までに範囲の学習をこなすことが大切だと思います。1・2年生で基礎がしっかりしていないと応用のことができなくなるのと、3年生になってからでは時間が足りません。受験生ほどでなくても土台固めのために1・2年生の時に勉強しておくで楽です。

(名古屋市立大学薬学部合格した生徒)

■学校の授業は大切にすべき。好きな教科は楽しめるかもしれないが、そうでない教科の授業も楽しもうと努力するだけで先生の話がずっと頭に入ってきたり、予習・復習のモチベーションがぐんと上がる。

また、1年生の時は角に受験を意識し過ぎず、授業の中で気になったことや興味のあることをメモして調べたりして、自分の好きなこと・やりたいことを見つけてきっかけにするとよいと思う。

(金沢大学融合学部合格した生徒)

■1・2年生の間は授業をよく聞き、定期テストだけでなく実力テストや単語の小テストも無駄にしないで勉強することが大切だと思います。特に、理科・社会はこの繰り返しが重要です。理科基礎に関しては1・2年の間にやっておいたことで、3年生になってからは共テ形式の問題をやるだけで十分に点が取れました。

(名古屋大学文学部合格した生徒)

◇◇◇ 2024年度入試(国公立大)の結果 ◇◇◇

3月に卒業した名東生の受験結果の集計も終わりました。以下におもな国公立大学の結果をお伝えします(推薦入試での合格者も含む)。国公立大の合格者は121名でした。なお、カッコ内の数字は浪人生の数です。

名古屋大 12名(1)

文学部2 法学部3 経済学部2 工学部5(1)

名古屋工業大 14名(1)

愛知教育大 9名(1)

名古屋市立大 20名(1)

人文社会学部8 経済学部8(1) 総合生命理学部1
芸術工学部1 薬学部2(1) データサイエンス学部1

愛知県立大 16名

外国語学部7 日本文化学部3 教育福祉学部1
看護学部4 情報科学部1

岐阜大 7名(2)

岐阜薬科大 1名

静岡大 11名(1)

三重大 2名

横浜国立大 1名

東京都立大 3名

金沢大 1名

信州大 3名(1) 医学部医学科 1(1)

大阪公立大 1名

神戸大 1名

神戸市外国語大 2名

岡山大 1名

広島大 1名

愛媛大 1名

長崎大 1名(1)

東京芸術大 1名(1) 愛知県立芸術大 1名

など

